

2024 年度事業報告

1. 重点方針の実施状況

2024年度事業計画

検討を重ねてきた全能連の今後の方向性およびコロナ禍を経て大きく変化してきた業界を取り巻く環境の認識の元、2024年度には課題とその対策を絞り込み、具体的に取り組みを行う:

1) マネジメント団体の統括的位置づけ向上のための施策

公益社団法人であることの意義を再認識し、会員団体や業界に対して有用なサービス提供のためには、全能連そのものおよび各種施策の知名度向上が不可避と考え、以下2つの策を実行する:

① Real Promotion

ここ数年間十分にアプローチできていなかった、社会人大学院や審査委員の先生方を通じた大学研究室などを訪問し、全能連の存在とアワードの実施について訴求する

② Web Promotion

時代に即した媒体選択を行い、プロモーションを行う。ウェブサイトリニューアル、各種SNSでの発信などに着手する

2) マネジメント技術向上のための施策

研究会、セミナーなど、コンサルタントおよびマネジメント技能を要する各種の技術向上に資するため、各種イベントを展開していく。特に全能連マネジメント・アワードについては応募総数の増大を目指したプロモーション活動を行っていく

⇒ 「具体的な取り組み」とし、SNSなどの発信・全能連WEBのニュース・記事公開を頻繁に行う、マネジメント・アワードのプロモーション活動を一部関係者のいる大学を通じて行うなどを実施した。マネジメント技術向上のための施策としては、マネジメント・アワードの開催、また、オンラインセミナー(全3回)を行った。研究会は開催せず。

2. 2024 年度事業の総括

●第4回目の「全能連マネジメント・アワード2024」を開催した。応募総数は少数に留まったものの、これまでの反省点を踏まえた運営を実現し、第一次／第二次にわたる厳正な審査を経て大賞およびコンサルタント、アカデミック・フェロー、プログラム・イノベーター、特別賞の各賞受賞者を決定し、全能連ウェブサイトに掲載するとともに賞状および賞金・記念品を贈呈した。

●MC/MI認定事業については、依然として既存認定者の高齢化及び新規申請者の減少傾向は続いているが、MIについては今年度会員団体の一部の申請者数増加により、一時的に認定者の増加となった。研究会活動は行えなかったため、2025年度は研究会が開催できるよう、又、3回開催となったオンラインセミナーのさらなる充実等、既存のMC/MI認定者の認定継続促進・認定者向けのサービス対策を図る。さらに、上記アワードとともに全能連および全能連の活動そのものの知名度向上対策は引き続き必須であるため、2025年度に向けて対策していく。

●海外関連

ICMCI ICMCI Asia Pacific Hub Summit 2024 オンライン出席 (2024/6/24)

ICMCI Asia Pacific Hub Committee inaugural meeting オンライン出席

(第1回 2024/7/18 第2回 2024/7/26)

ICMCI Virtual High Trust Full membership Re-assessment (監査受査)

(2024/6～11)

●2024年度決算は当初予算に対して主として人件費や出張費などの減少により対予算比大幅に改善。

次頁以降、2024年度事業別活動報告を行う。

3. 事業別計画

(公益事業) 経営・マネジメント支援等事業

(1) 全能連マネジメント・アワード事業

2024年度は、「全能連マネジメント・アワード」を以下の通り開催した。

◇応募締切：2024年8月30日

◇一次審査：2024年10月20日→優秀と認められるもの5編を選出

◇二次審査：2025年1月24日→リアル会場での発表形式で実施。

同日実施した審査委員会において、以下受賞者を決定した。

●全能連マネジメント大賞

「実践型介護 BCP の策定」

わたなべ行政書士事務所 渡邊 敬二

●コンサルタント・オブ・ザ・イヤー

「フードビジネスで活躍する AI とその進め方」

一般社団法人東京都中小企業診断士協会 山崎 康夫

●アカデミック・フェロー・オブ・ザ・イヤー

「プロスポーツクラブ経営におけるパートナーシップ形成・強化要因の質的分析：オフィシャルパートナー企業の意思決定プロセスに注目して」

新潟医療福祉大学 山本 悦史

立命館大学 中西 純司

●プログラム・イノベーター・オブ・ザ・イヤー

「人材・組織・企業に内在する暗黙知を、形式知化&学習&深化させる、再現可能なしくみづくり

～人的資本経営・モジュール化思考によるナレッジマネジメント～」

株式会社 ベーシック 田原 祐子

●特別賞

「組織の発達段階に沿ってすすめる組織開発とその効果
～自分ゴト化と相互支援による不可逆的な職場活動～」

株式会社パーソル総合研究所 内田 智之

以上5編に対し、規程に基づき賞金・記念品を贈呈した。

※インストラクター・オブ・ザ・イヤーは該当なしとなりました。

◇4月2日に委員会を開催し、2025年度開催に向け審査委員、事務局で協議した。

(2) マネジメント関係資格称号認証・認定事業

【資格称号認証事業】

＊資格認証・認定審査会を開催し、認証を審議した資格は以下のとおり。

- ・認証資格更新：認証番号第1号「経営士」一般社団法人日本経営士会ほか
合計42資格

- ・認証資格取消：2024年3月以降期日（2024年12月末）までに更新申請の
なされなかった下記資格（期間満了）

認証番号第24号「資材管理士」一般社団法人日本資材管理協会

認証番号第119号「公文書管理」一般社団法人日本経営協会

●期末現在：55資格／18団体

【MC/MI認定事業】

- ・認定は、例年どおり4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を
行い、認定されたMC/MIは全能連ホームページ上で広報した。

●期末現在：MC 541名（前年：562名）、MI 33名（前年：43名）

(3) マネジメント関係調査研究事業

【海外との情報交流】

国際組織ICMCIの各種事業（総会、アワード、コンファレンス、ISOなど）の
紹介及び参加をJ-CMC、J-MCMC、EMIなどの国際資格保持者に対して呼び
かけ、コンサルタント同士の国際交流をはかった。

ICMCI Asia Pacific Hub Summit 2024 オンライン出席 (2024/6/24)

ICMCI Asia Pacific Hub Committee inaugural meeting オンライン出席
(第1回 2024/7/18 第2回 2024/7/26)

ICMCI Virtual High Trust Full membership Re-assessment (監査)

(2024/6～11) 監査受査後、引き続き全能連 (AFMO : IMC JAPAN) として
認証を受けた

10月にアルメニア（エレバン）にて開催した総会には欠席

【研究会】 実施せず

（４）会員内事業

【会員の入会・退会】

・退会： 一般社団法人日本資材管理協会（2025年3月31日付）

●期末現在会員数：29団体

（収益事業）顕彰者表彰事業

前年度と同様に、４月に募集を開始し９月に顕彰式を挙げるスケジュールで実施し、顕彰17名、表彰11名（前年27名、表彰11名）を顕彰した。

◇開催日：2024年9月25日（水）

◇会 場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

以 上